

第3学年西組 社会科学習指導案

「品質を追求し、地域に貢献しようとするソーセージ工場の仕事」

学習指導者 網野 未来

1 学級（34名）の実態

（1）方法の習得を目指す自己調整力に関する実態

〔問題を発見して、課題を設定する力〕

社会科の時間に、「自分が分かっていることは何で、まだ分かっていることは何かを考えている」と答えた子供は22名、「新しく分かったことは何かを確かめている」と答えた子供は29名であった。授業で分かったことを振り返る姿は見られるものの、分からなかったことを振り返ったり、分からなかったことを次の時間の課題として考えていこうとする姿はあまり見られない。

（2）教科に関する学級の実態

ほぼ全ての子供が、工場は様々なものを作る所であることを知っている。一方、坂出市の様子について学習する前の段階で、市内の工場でどんなものが作られているか知っている子供は3名であった。また工場働く人が気を付けていることについては、安全面や衛生面、美味しさについて答えた子供が多く、地域貢献ということについて考えが及んでいる子供はあまりいない。

習得を目指す「問題を発見して、課題を設定する方法」

これまでに見付けた疑問の中から、みんなで考えるべきことを話し合って決める

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、地域の人々のためにおいしいソーセージを生産している工場（協同食品）の人々の仕事の様子を明らかにする。そして、ソーセージ工場への誇りと愛着をもてる姿を目指す。

グラフや献立表から、坂出市の工場で作られているソーセージが給食に出ていることを知った子供たちは、実物を見たり試食したりして分かったことを基に問題を発見していく。例えば、「味は分かったけれど、どうやってこんなおいしいソーセージを作っているのか分からないよ」「そうだね。私は、香りが分かったけれど、どうしてこんな香りがするのか分からないよ」「なるほど。僕は色が分かったけれど、どうしてこんな色になるのか分からないな」などと一人一人が新しく知りたいことを見付ける。そして疑問を基に全体で話し合い、「おいしいソーセージを作る工場の秘密を調べ、分かったことをまとめよう」という目標を設定し、その解決に向けて、課題を設定し、見学や聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりしていく。例えば立場を広げ、工場には、ソーセージを製造する仕事をする人以外に発注や検査、発送の仕事をする人がいて、様々な仕事をする人が互いに協力していることを捉える。また空間的視野を広げ、製品の配送先を知り、生産されたソーセージの流通の流れを捉える。このような学習を通して、衛生に気を付けながら協力して、私たちが安心して食べられるソーセージを作っている工場の人々の仕事の様子を理解していく。さらに、ソーセージ工場では、作ったソーセージをスーパーマーケットなどに買ってもらい、売り上げを生み出そうとしている一方で、製造したソーセージを無料で、坂出市の子供たちの給食に配ったことについて疑問を抱き、地域の人々の生活と関連付けながらその理由を考え話し合っていく。話し合いを通して、工場働く人々が、品質を追求しながらおいしいソーセージを生産するとともに、地域に貢献しようとしていることを理解した子供たちは、市内にある他の工場働く人々も地域の人々の生活のことを考えながら、生産を行っているのか興味をもつだろう。また、ソーセージを販売している人々の仕事の様子にも関心を高めていくだろう。

3 単元計画と単元構成の工夫（本時 7/8）

次	学習の流れ	単元構成の工夫
一	① 坂出市の工場では、どのようなものがつくられているのだろう 地図などを基に、坂出市の工場の分布や種類について調べる。給食の献立表を基に、坂出市で作られているソーセージが給食に使われていることを知り、ソーセージ工場について調べる意欲をもつ。	【達成意欲を高める目標共有の工夫】①② ①では、工場の種類のグラフを基に、食料品を作る工場が坂出市に多いことに気付かせる。そして献立表を基に、市内の工場で自分たちが食べる給食のソーセージが作られていることを知らせ、ソーセージ工場についての関心をもたせる。 ②では、実際にソーセージを試食する場を設定することで、ソーセージの味や香りのよさに気付かせる。そして、おいしいソーセージを作るには何か秘密がありそうだという予想を基に、「おいしいソーセージを作る工場の秘密を調べ、分かったことをまとめよう」という目標を設定する。さらに、「人」や「機械」、「原料」など、子供たちが予想したことを確かめるために見学に行くことを確認し、見学への意欲を高める。
	② ソーセージはどんな味なのだろう ソーセージを試食し、その美味しさに気付く。おいしいソーセージを作る工場の秘密について予想し、工場で見たり聞いたりしたいことについて話し合う。	
	③～⑤ おいしいソーセージを作る工場には、どのような秘密があるのだろう ③では、工場を見学したり、工場の人に質問したりする。④では、見学して分かったことを共有し、ソーセージ作りの工程について捉える。⑤では、衛生や環境保全に気をつけながら生産していることや、工場では、作る仕事以外に発注する仕事、検査する仕事、発送する仕事があり、工場働く人が互いに協力していることを捉える。作られたソーセージは直接店に運ばれない事実を知り、疑問をもつ。	
二	⑥ 作られたソーセージは、どこへいくのだろう ソーセージの流通の流れを調べ、物流拠点に運ばれた製品が全国のお店で売られていることや、それが工場の売り上げにつながることを捉える。坂出市の給食に無償提供した事実を知り、疑問をもつ。	【子供が自ら選択して、学びを進める時間】④、⑧ ④では、工場見学で分かったことをワークシートにまとめていく。その際、工程や原料、作り方の秘密という項目があるワークシートを用いる。まとめる際には、資料（見学時のメモ用紙や教師が撮影した写真）や学習形態（一人で、友達と）について選択できるようにして、自分に合った方法で活動に取り組めるようにする。教師は、活動中、資料を基にまとめを進められているか確認する。また、どの資料を見たらよいか、メモしたことがどの項目に当てはまるか困っている子供には個別に助言する。
	⑦ 工場的人是、なぜ無料で坂出の子供たちに給食用のソーセージを配ったのだろう 給食用に寄贈した理由について話し合い、地域に貢献し、ソーセージのおいしさをアピールしようとする工場の人々の思いを捉える。	
三	⑧ ソーセージ工場の秘密について分かったことをまとめよう これまでの学習を振り返り、ソーセージ工場の秘密について分かったことをまとめる。	⑧は、単元の学習についてまとめる時間とする。まとめる時に使うもの（ノートやワークシート）や学習形態（一人で、友達と）について選択できるようにして、自分に合った方法で活動に取り組めるようにする。教師は、活動中、自分なりに資料を使いながらまとめを進めている子供を称賛したり、困っている子供にアドバイスをしたりする。

4 方法の習得の段階に合わせた手立て 【はてなタイム】②、⑥、⑦

認知段階②	想起段階⑥、⑦
授業の学習課題を設定する際に、「これまでに見付けた疑問の中から、みんなで考えるべきことを話し合っ決めて」という方法を教示する。②の見通し場面で、班の友達と、知りたいことや疑問を記述したはてなリストを基に、みんなで考えるべきことについて伝え合う時間を設定する。書きためた個人の疑問を基に話し合うことで、本時考えたいことが見付かるという方法のよさを共有する。	見通し場面で、分かっていることを全体で共有した後、「みんなで考えていくことを決めるためには、どうすればよかったかな」などと問いかける。また、方法の文言を自己調整力シートに位置付けて掲示しておき、いつでも見返せるようにすることで想起を促す。

5 本時の学習

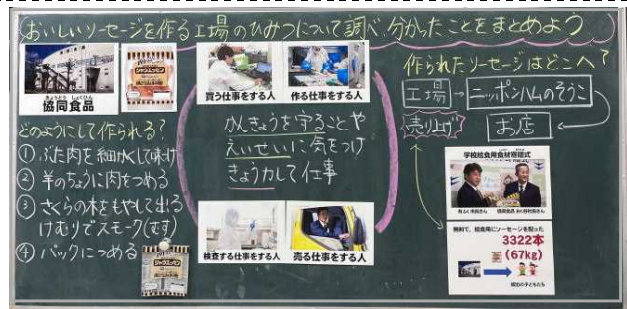
目 標	工場の人が給食用にソーセージを無料で配った理由を考え話し合う活動を通して、地域に貢献するとともに、ソーセージのおいしさをアピールし、工場のことを知ってもらいたいという思いがあることを捉えることができる。
--------	---

学習活動と手立て		主な子供の意識			
見 通 し	1 前時の学習を振り返り、学習課題を設定する。 【はてなタイム】	前の時間は、工場で作ったソーセージが一度物流センターに届けられ、そこから全国のスーパーマーケットなどの店に売られていくことが分かったよ。売る以外にも、私たちの給食用に無料でソーセージを配っていたね。			
		どうして無料で給食用に3322本もソーセージを配ったのか分からないな。	なぜ坂出の子供たちに配ったのか、分からないな。		
		作ったソーセージを店に買ってもらわないと売り上げが出ないのに、工場の方は、なぜ無料で坂出の子供たちにソーセージを配ったのか不思議だよ。			
		工場の人は、なぜ無料で坂出の子供たちに給食用のソーセージを配ったのだろう			
行 動	2 給食用にソーセージを無料で配った理由について考え、話し合う。 (1) 個人で (2) 全体で	工場の人たちには、どんないいことがあるのだろう。僕たちには、どんないいことがあるのだろう。			
		工場の人は、衛生に気を付けてソーセージを作っているよ。給食でおいしいソーセージを食べられるのいいことだと思うよ。	工場の人は、大きな音や汚い煙、汚い水が出ないように仕事をしていたよ。配ることで、地域のためになることがいいことだと思うよ。	ソーセージはおいしかったよ。工場の人が、おいしさを、食べたことのない子供たちにアピールできるのいいことだと思うよ。	
		〇〇さんの考えは私の考えと似ているな。坂出にある工場だから、坂出の子供たちのためにソーセージを配ったのだね。	確かに、ソーセージを配ることで工場をアピールすることにつながるな。自分たちの工場のことを知ってもらえると、工場の人はうれしいよ。	〇〇さんの考えは、私の考えとほとんど同じだよ。おいしい物を作れたら、食べてもらいたいと思うにちがいないよ。	
		みんなの考えをまとめてみよう。			
		僕たちにとっては、給食でおいしいソーセージを食べられることがいいね。	工場の人にとっては、やりがいになるし、ソーセージについて知ってもらうことで、買ってもらえるかもね。		
		話し合ったことを資料で確かめてみよう。			
		振 り 返 り	3 本時の学習を振り返る。	無料で配ることで、坂出の子供たちが喜んでくれるし、地域に貢献できて、工場の名前を広く知ってもらえることにつながるね。	
友達の考えをよく聞くことができて、考えがより詳しくなったよ。	これまでの学習を参考にして、自分の考えを話すことを頑張ったよ。				
次は、ソーセージ工場の学習をまとめていきたいな。	2回配ってみて、工場の名前を知る人は本当に増えたのかな。				

6 本時の詳細

～見通し～ 学習活動1【はてなタイム】

前時まで、工場で働く人々が協力し、衛生に気を付けながらソーセージを作っていることや、ソーセージの流通の流れについて学習している。また、既習事項を補助黒板にまとめておき、前時までの学習内容を想起する際に使いやすくしておく。子供の発言に合わせて、補助黒板やノートに注目させることで前時までの学習の想起が難しい子供も想起しやすくする。



【既習事項をまとめた補助黒板】

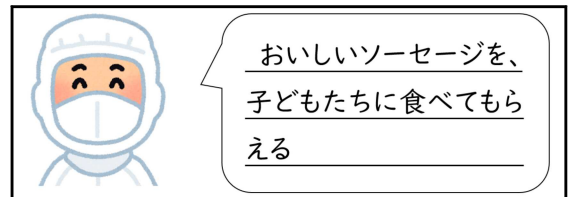
本時ではまず、前時の学習内容を確認し、学習課題を設定していく。その際、教師は、「みんなで考えたいことを決めるためには、どうすればよかったかな」と問いかけ、方法の想起を促す。子供たちは、班の友達と自分のはてなリストを基に、みんなで考えたいことについて話し合っていくだろう。その後、話し合ったことを全体で共有し、みんなで考えたいこととその理由について子供たちの意見を聞きながら、みんなが納得する目当てを設定する。「はてなリストを基に、みんなで話し合ったから、この時間の目当てが決まったね」などと方法のよさを価値付ける。

全調べたり考えたりして分かったことから、はてな(さらに知りたいことやぎもん)を見つけよう。			
No.	日づけ	はてな	分かったか(チェック)
1	6/5	ソーセージは、どんな味がするの?	○
2	6/7	ソーセージは、どうやって作るの?	○
3	6/17	作られたソーセージはどこへいくの?	○
4	6/21	なぜ、ソーセージを、わりよで配るの?	

【はてなリスト】

～行 動～ 学習活動2

まず全体で、「給食用にソーセージを配ることは、だれにとっていいことなのかな」と問いかけ、子供たちと工場の人というどちらかの立場に立って、よさを考えていけばよいことを共有する。また、既習の資料や見学して分かったことをまとめたワークシートを参考にしながら考えをつくらせていけばよいことを確認する。個人で考える際には、子供たちや工場の人にとってのよさを吹き出しカードに表現していく。考えができた子供には、友達のとおりか違いかを意識しながら交流するよう促し、自分になるほどと思った考えを、色を変えてカードに書き加えるよう伝える。



【考えを表現する吹き出しカードの例】

その後の全体交流では、考えとその理由を共有していく。子供が考えやすいであろう、子供たちにとってのよさから表出させ、おいしいソーセージを食べられる子供たちの気持ちを共有していきたい。また、工場の人にとってのよさを共有する際には、無料で配るという行為が、地域のためになり工場の人とのやりがいにつながることや、ソーセージや工場のことをより広く知ってもらいことにつながることに理解を深めていきたい。話し合ったことは、工場の方の話を資料を使って確かめる。

～振り返り～ 学習活動3

分かったことを振り返りカードに記述させ、全体で確認することで、学びの成果を自覚できるようにする。そして、自分の学び方(話すこと、聞くこと、考えをつくること)の何がよかったから、分かったことをまとめることができたのかという視点で学習過程について振り返りを行う。記述内容を全体で発表させ、よい学びができていることを称賛する。

大きなめあて おいしいソーセージを作る工場のひみつを調べ、分かったことをまとめよう			
なまず今日の学習で分かったことをまとめよう。そして、①が分かったのは、自分の学び方(話すことや、聞くこと、考えをつくることなど)の何がよかったからか、ふり返ってみよう。			
日づけ	① 分かったこと	② よかったと思う学び方	
6/7	坂出市では、食べ物を作る工場が多いことが分かった。 坂出市には、ソーセージを作っている工場がある。	・ 話すこと ・ 聞くこと ・ 考えをつくること ・ その他()	

【振り返りカード】

その後、本時分かったことを共有し、はてなリストにさらに知りたいことや疑問を記述させる。記述するのが難しそうな場合は、近くの友達と見付けさせたり、分かったことを個別に尋ね、さらに知りたいことについて一緒に考えたりする。その後全体で確認し、「分かったことからさらに知りたいことを見付けられたね」と価値付けるとともに、次時は単元の学習についてまとめていくことを伝え、見通しをもてるようにする。